

シイタケの原木林の管理

<シイタケほだ木つくり>

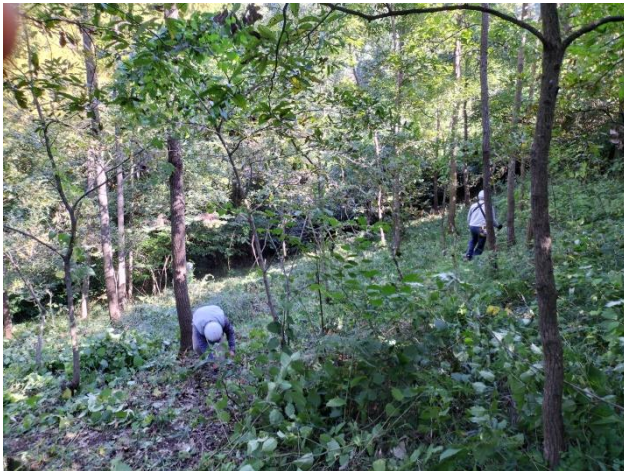
- ①原木はクヌギ、コナラ、ミズナラなど
- ②伐採は木の根元付近から木を切り倒します。葉がついた状態で、切り倒したまま置くと、葉からだんだんと水分が抜けていき(葉枯らし)、植菌(駒打ち)に適した状態になります。
- ③伐採した木の切り株からは春、新しい芽(ひこばえ)が芽吹きます。これを「萌芽更新(ぼうがこうしん)」といいます。新しい芽は再びCO2を活発に吸収しながら元気よく成長し、それを繰り返すことで健康的な森が常に維持されます。
- ④玉切の長さは1m前後、本窯炭焼きが80cmなので、それに合わせることが多い



クヌギの林



葉枯らし中のクヌギの木



クヌギの林の下草刈り



伐倒したクヌギの木をホダギ用として切断する



萌芽更新